

# 東京病院ニュース

## 第48号



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院  
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1  
TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168  
ダイレクト・イン・ダイヤル 042 (491) 4134  
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/tokyo/>

## 平成26年9月号に寄せて

国立病院機構東京病院院長 大田 健

夏が終わりを告げようと言う時に、大変悲惨なニュースが入ってきました。広島市の北部を襲った土石流です。近年の豪雨はただごとではないほどの激しさで、各地でこれまでにない位の大きな被害を出していましたが、広島市の土砂災害は、現時点で死者が63名、行方不明者25名と報道されています。被災者とその関係者の皆さんのことを考えると、本当に胸が痛みます。災害により人生を断たれることの辛さを本人は表現できない訳ですが、残されたご家族を通じてひしひしと伝わって参ります。心から被災者の皆様に哀悼の意を表したいと存じます。そして、清瀬市にあって、我々が日々無事に過ごすことができることへの感謝の念を感じずにはられません。

東京病院の夏は、お陰さまで今年もカルガモの飛来に始まり百日紅の花も咲き平穏な季節の移ろいで終わろうとしております。清瀬市に位置する本院が、北多摩北部医療圏を中心とする地域において、中核病院の1つとしてさらに充実した役割が果たせるよう、酷暑に負けることなく職員が一丸となって努力し、病院の進化を押し進めた夏でした。新たに加わった新人も新たな職場に慣れ、立派な戦力となって元気に夏を過ごしました。ベテランと若手が一体となり、目標を共有しながらエネルギーを出し続けています。病診連携を引き続き推進するだけでなく、将来に向けて地域医療への貢献が一層高まるように、地域支援病院としての認定、地域包括ケアへの参画、がん診療連携拠点病院としての認定などを目指した運用を継続して参ります。本院における各診療科のエキスパートを中心とする外来枠を増設し、今月号の本誌からエキスパートの存在を広報して、本院の秘めたる実力を存分に活用していただけるように致します。新たに開設する総合ドックも準備が整い、呼吸器および消化器ドックとともに地域の皆さんのために機能させたいと思います。二次救急を開始して2年目を迎え、救急への対応が整ってきているので、東京ルールにも参画し、微力ながら地域の救急医療体制に貢献する方向で話が進んでいるところです。

「自分や自分の家族がかかりたい病院」を念頭に、スタッフ全員がそれぞれの職責をしっかりと果たせる職場として、引き続き運営したいと思っております。どうぞよろしくご厚意申し上げます。

平成26年8月26日



カメ



アオサギ

## 連携医の方を紹介します



### 松岡内科クリニック

院長 松岡 緑郎 先生

標榜科 内科、呼吸器内科、アレルギー科



#### 院長からの一言：

☆総合内科☆多摩でも数少ない内科学会総合内科専門医、内科学会認定専門医の資格を所得しています。

☆呼吸器内科☆呼吸器学会指導医および専門医、呼吸器内視鏡学会専門医の資格を有しています。インフルエンザ、肺炎などの感染症、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎の診断と治療を行います。サルコイドーシスや肺癌の診断、および必要ならば適切な専門病院(公立昭和病院、国立病院機構 東京病院、複十字病院、多摩北部医療センター、東京都多摩総合医療センター、杏林大学、順天堂大学)を紹介いたします。また、在宅酸素療法も行っております。

☆アレルギー科☆気管支喘息、アレルギー性鼻炎、花粉症などの治療を行います。特に気管支喘息は薬剤師、看護師と協力して、適切な吸入指導を行うことに力を入れています。咳だけが長引く咳喘息やアレルギー性咳も、ご相談ください。また、高血圧、糖尿病などの生活習慣病の治療、生活指導なども積極的に取り組んでおります。

多くの臨床経験を生かし、患者さんの立場に立った診療、再診の医療の提供に努めて参ります。スタッフ一同でチームを組み、地域医療の一端を担っていきます。

窓口受付	月	火	水	木	金	土
AM9:00~12:00 (初診 11:30 まで)	○	○	○	×	○	○
PM2:30~5:30 (初診 5:30 まで)	○	○	○	×	○	×

【休診日】木曜日、日曜日、祝祭日、土曜日午後



所在地：〒187-0002

東京都小平市花小金井 1-1-11 3F

連絡先：042-426-8080

ホームページ：<http://www.matsuokac.com/>

## 平成26年度第1回東京病院市民公開講座を開きました

統括診療部長 小林 信之

平成26年度の第1回市民公開講座は、7月5日（土）に東京病院大会議室にて開催されました。小雨まじりのむし暑い土曜日でしたが、当日は150名をこえる方にお集まりいただき、会場は座りきれないほどの盛況となりました。まず大田院長の挨拶ではじまり、講演①では消化器外科の元吉 誠 病棟診療部長より、「大腸癌—早期診断と治療—」というタイトルで、大腸癌の発生と病理、検査・診断、治療・手術療法についてのお話がありました。実際の患者さんの手術写真を交えてのお話で、会場の皆様は興味深そうに聞き入っていました。そして、大腸癌の早期発見に重要なのは便潜血検査であり、しかも検査は1回だけでなく2回行うことの重要性を強調されました。講演②では整形外科の堀 達之 医長より、「骨粗鬆症について」というタイトルで、その背景・疫学、診断・治療、骨折とその治療、骨折予防のための食生活・運動・環境についてお話がありました。骨折およびその治療後の写真をたくさん提示し、わかりやすく説明をされました。なお、講演内容を理解していただくために、お二人の講演スライドの資料を参加された皆様に配布しました。

今回の市民公開講座では、前回の2倍以上という予想を上回る方が来場され、会場からたくさんの質問をいただき活発な講演会になりました。しかし、その一方では、後ろの席だとスライドが見にくい、演者の声が聞きとりにくいなどの問題が指摘されました。次回はその点を改め、スライドを前に出して見やすくする、スピーカーを増やして後ろのほうでも聞きやすくするなど、参加された全員が理解できるような講演会にしたいと考えています。講演後のアンケートでは、ほぼ100%の方が次回の市民公開講座の開催を「希望する」と回答されました。市民の皆様の希望されるテーマを中心に次回の開催を企画しますので、どうぞご期待ください。庄司副院長の閉会の挨拶では、当院の人間ドックについて説明がありました。お二人の講演に共通しているのは、大腸癌にしても骨粗鬆症にしても、早期発見・早期診断が重要だということです。東京病院では近々「人間ドック」を開始いたします。ご自身の健康状態を早く知るためにも、当院の「人間ドック」をご利用いただけるようお待ちしております。



## 当院 Expert 医の紹介

呼吸器センター部長 松井 弘稔

専門外来でいびき・COPD外来と禁煙外来を担当しています。呼吸器科を受診する患者さんのなかに、肺の病気をもちながら煙草を吸っている方が残念ながら少数います。タバコを止められない原因の一つがニコチン依存で、そこを楽にしてくれるのが禁煙補助薬です。現在は、ニコチンガム、ニコチンパッチ、内服薬（チャンピックス）と3種類あります。禁煙補助薬なしでの禁煙成功率が30%、ニコチンガムで50%、ニコチンパッチで60%、チャンピックスで75%といわれています。タバコをやめたい人が楽にやめるための薬なので、やめたいけど自信がないとか、今まで補助薬なしで禁煙に成功しなかった人は禁煙外来を受診してみてください。

この、たばこが原因で起きる病気の代表が、肺癌とCOPDです。COPDはタバコを吸う人にしか起こらない病気で、昔は肺気腫とか慢性気管支炎と呼ばれていましたが、現在は、COPD（慢性閉塞性肺疾患）という名前で統一して、認知度を高める努力をしているところです。徐々に進行する息切れをおこし、気管支の狭窄と肺の破壊を特徴とします。今でも破壊された肺を戻す方法はありませんが、禁煙、気管支拡張薬、呼吸リハビリ、感染予防などで、現在の呼吸機能を高めたり維持したりすることが可能になってきています。20本/日のたばこを20年間以上吸っている、あるいは過去に吸っていた方は、呼吸機能検査を受けてみてください。特に、階段で息切れする人は検査してみてください。

いびきで病院を受診するのはごく一部の人のみですが、いびきは実は睡眠時無呼吸症候群という病気を発見する大事な症状です。バスの運転手さんが睡眠時無呼吸症候群のために居眠り運転で事故を起こし、新聞に載ることがあります。のどに狭いところがあり、寝ると空気の通り道がふさがってしまい呼吸が止まる病気です。交通事故の他に、心筋梗塞や脳卒中もおこしやすい病気です。簡単な検査で診断と重症度がわかり、治療法もある病気ですので、いびきをかく人は一度検査を受けに来てみてください。

### 永井先生（外来診療部長）が今村賞を受賞しました！！

今年、日本結核病学会の学会賞である今村賞を当院の永井英明先生が受賞しました。今村賞は結核予防対策理念の基盤を確立した今村荒男先生（1887-1967年）を記念して、優れた結核研究の成果をあげた研究者を顕彰するものです。1969年から57名が受賞し、当院からはこれまで下出久雄先生（1977年）、倉島篤行先生（2003年）が受賞されています。永井先生はこれまで当院でAIDSと結核について多くの研究をされAIDS合併結核の病態と治療において多大な貢献をされてきました。受賞を記念して6月24日院内で受賞記念講演が行われました。

## 結核について（1）

呼吸器内科 山根 章

当院の前身は昭和初期に設立された清瀬病院・東京療養所です。昭和37年に両院が統合され国立療養所東京病院として発足しました。東京病院はその前身の時代から現在に至るまで、わが国における結核の診療について中心的な役割を果たしてきました。（表1）そこで、東京病院ニュースにおいても結核に関する記事を連載して、結核医療の現状をご説明したいと思います。

連載の第1回目として、我が国における結核の状況を述べます。我が国の結核患者発生数は徐々に減少し、低蔓延国（1年間に新たに発生した患者数が人口10万人あたり10人未満の国と定義されています）に向かっています。2013年の全国統計では新たに発生した結核患者数は10万人あたり15.7人で、その前年に比べて0.8人減りました。

しかし、80歳以上の高齢結核患者はなかなか減少していません。2013年の統計を見ますと、5年前に比べて新たに発生した結核患者さんは4700人ほど減少しているにもかかわらず、80歳以上の方は700人ほど増えています。従って、結核患者さん全体に占める高齢者の比率は年々上昇していることとなります。

高齢者の結核の大部分は、若い頃の結核蔓延時代に感染した結核菌が長期間体内で生存していて、高齢になって体の抵抗力が落ちたときに再発するものであると考えられています。

高齢層の結核患者さんには結核以外の合併症を持っておられる方が多く、中には重症の合併症を持っておられる方もあり、治療に難渋することも少なくありません。

また、一方東京などの都市部では、若年齢層の結核も問題となっています。全国的には若年齢層の結核患者さんは減少しているのですが、東京では39歳以下の比較的若い方の結核も決して少なくありません（図1を参照してください）。これは地方では結核感染の機会が減っているのに比べ、都市部では人口が密集しているため結核感染の機会が少くないためであると考えられます。

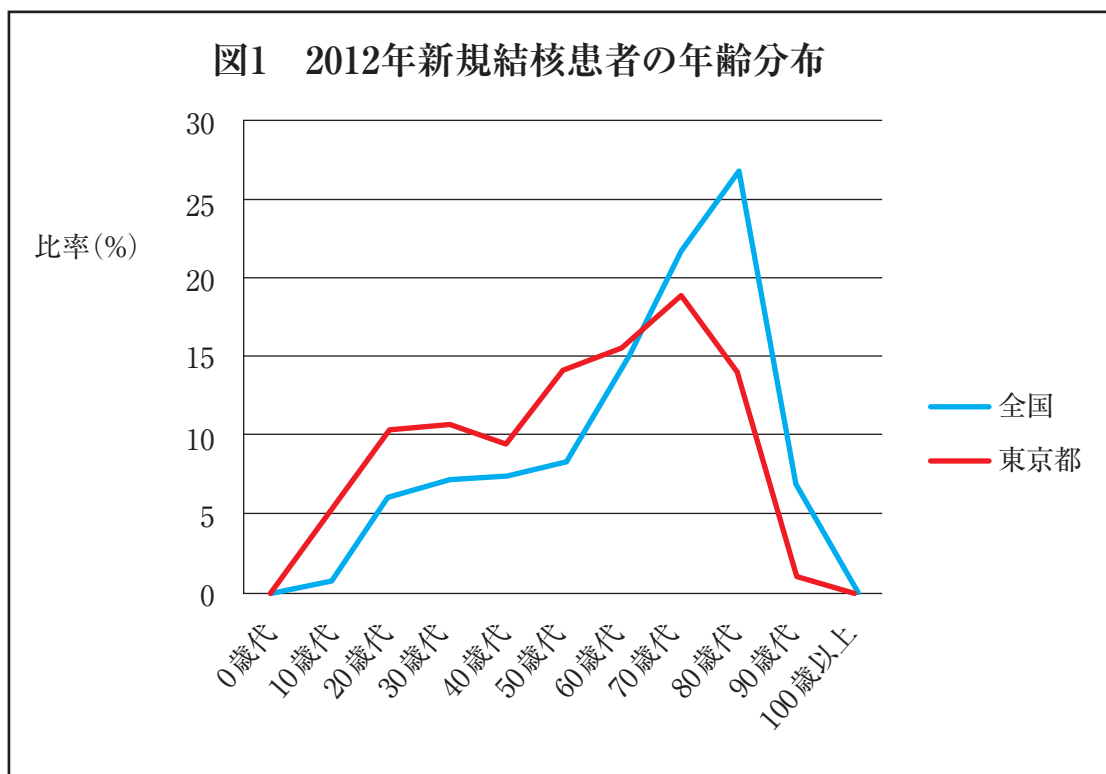
このように結核は全体では減少傾向にはあるのですが、まだまだ重要な病気であります。

次回は当院での結核治療の現況をご説明いたします。

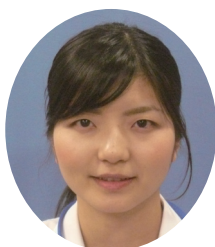
表1 当院の沿革(当院ホームページから引用)

国立東京療養所	国立療養所清瀬病院
昭和14年11月8日 傷病軍人東京療養所として開設	昭和6年10月20日 東京府立清瀬病院として開設
昭和20年12月1日 厚生省に移管、国立東京療養所と改称	昭和18年4月1日 日本医療団に移管
	昭和22年4月1日 厚生省に移管、国立療養所清瀬病院と改称
	昭和32年9月2日 附属看護学校(2年課程)を設置
昭和37年1月4日 国立東京療養所と国立療養所清瀬病院を統合し、国立療養所東京病院として発足	
平成16年4月1日 5年間にわたる病院建替え工事(一部改築)を完了し、独立行政法人国立病院機構東京病院に改組	

図1 2012年新規結核患者の年齢分布



## 後期研修医紹介 (前号からの続きです)



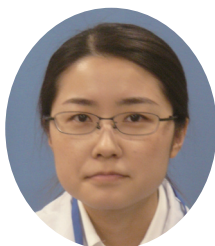
宮川 和子

平成26年4月から呼吸器内科専修医として勤務させていただくことになりました宮川和子です。初期研修を終了後、東大呼吸器内科に入局し当院勤務を希望しました。当院では呼吸器疾患の症例が多く、検査や治療も他の病院と比較し多彩です。その中で専修医として働くことで、今後の診療基盤を作り上げていきたいと思っています。まだまだ至らない点もありますが、皆にとってよりよい医療を心がけ、精一杯頑張りますのでよろしくお願いたします。



横山 晃

今年4月から着任しました横山です。前の勤務地では救急から終末期まで幅広い患者さんに対応していました。東京病院は各分野のスペシャリストの先輩方が沢山いらっしゃいますが、今までの経験を生かし、専門的な治療と患者さんを繋げられるように頑張ります。またその中で先輩方からも多くを学べればと思っています。宜しくお願いします。



渡邊 かおる

4月から呼吸器内科専修医としてお世話になっております。これまで市中病院と大学病院でそれぞれ1年ずつ研修を行いました。至らない点ばかりかと思いますが、指導医の先生方、先輩の先生方から学びながら日々努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。



渡邊 直昭

初めまして。本年度より呼吸器内科医として勤務させていただきます渡邊直昭と申します。各分野に専門のスペシャリストを揃えるこの東京病院で勤務することは、喜びと共に身の引き締まる思いでもあります。日々研鑽を積みながら、患者さんに寄り添った医療を目指したいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

## 外来化学療法室がオープンしました。

外来化学療法室長 廣瀬 敬

本年4月1日に外来棟2階に外来化学療法室がオープンしました。

リクライニングシートとベッドを併せて5床と小規模ではありますが、がん化学療法看護認定看護師の井原をはじめ看護師が常駐し、きめ細かくケアを行うことにより、安心してがん化学療法を受けることができます。対象となる患者さんは、肺がん、胃がん、大腸がん、膵がん、前立腺がんなどがんの種類を問わず、また、対象となる抗がん剤も一部の点滴時間がとても長い抗がん剤治療を除き、多くの治療が可能です。もし、治療中に副作用のために入院が必要となった場合には、入院して治療を受ける体制も整っております。

がん化学療法は、ここ数年でわが国でも従来の「入院して受ける治療」から「外来で受ける治療」に移行してきました。数ヶ月にわたるがん化学療法を外来で継続することにより、御家族と共に時間を共有し、仕事や趣味を続けながら治療を受けることができ、より快適で充実した生活を送れることが期待されます。

がん患者さんが、QOL (quality of life:生活の質)を損なうことなく、安心して外来でがん化学療法を受けることができるよう、スタッフ一同精進して参りますので、不安なことや分からないことがある際にはいつでもご質問ください。



【外来化学療法室のスタッフ】



【外来化学療法室】

がん化学療法看護認定看護師 井原 亜沙子

がん化学療法看護認定看護師の井原亜沙子です。従来は栄養相談室として使用されていた一室が外来化学療法室として機能するまでに、外来化学療法室長の廣瀬医師をはじめ、多くのスタッフの方々と準備を行ってきました。開設から早3か月が経過し、外来化学療法件数も4月の30件から7月には54件まで増加しました。関係者の皆様のご支援のおかげで軌道に乗ってきております。

外来化学療法的主要な対象患者さんは、治療が短時間で終了し、副作用症状がコントロールされている方となります。抗がん剤の投与管理においては正確さが求められ、使用されるレジメンも呼吸器系や消化器系と様々です。外来化学療法に携わる看護師一人一人が正確な知識を持ち、安全な投与管理が行なえるようにマニュアルを整備すること、医師や薬剤師と連携を図り調整することが求められております。

私は、入院患者さんのがん化学療法看護にも携わっていますが、外来化学療法は、病棟での治療と比較して患者さんと関わる時間は限られます。そのため、患者さんやそのご家族が抱える不安を瞬時に把握し、きめ細やかなケアを提供して、安心してご帰宅頂けるよう日々心がけております。

至らない点が多々あるかとは思いますが、日々病気と向き合っている患者さんとそのご家族の希望のために今後とも精進して参ります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

## 病棟薬剤師

### —未来へはばたく病院薬剤師—

薬剤科長 前田 和俊

皆さんは病院薬剤師の業務が変わってきているのをご存知ですか？薬に関しての最近の話題は、「インターネット販売解禁」だけではありません。病院薬剤師は、調剤や服薬指導だけではなく、もっと実際に薬の使用されている現場で、副作用や相互作用のチェックや薬の最新の情報を医師に提供するように求められてきています。

当院でも7月から、薬剤師の病棟での業務時間を拡大しました。今までは、薬局内で行う業務時間以外では服薬指導を行うことが病棟での主な業務でしたが、これからは患者さんがいろいろな場面で薬を使用する病棟で、薬剤師がより薬にかかわる業務を行うこととなりましたので、その一部をご紹介します。

まずは入院時に持参していただく現在服用しているお薬を、薬剤師が調べ「お薬手帳」の情報と合わせて医師に報告します。その情報をもとに、医師は入院後の検査や手術に影響のある薬以外を入院後の処方としてカルテに入力します。薬は似た名称のものも多く、中に含まれる成分量が異なるものも多く存在しますし、逆に同じ成分でも製薬会社の異なる薬もたくさんあります。入院前の薬が正確に入院後も継続されることが必要となりますので、とても重要な業務です。また抗がん剤を使用される患者さんの注射薬は薬剤師が無菌調製し病棟へ届け、医師、看護師と確認したうえで点滴が開始されます。他にも今まで薬に関する問い合わせは薬局へ電話して聞いていましたが、薬剤師が病棟にいる時間が増えることによりその場で質問できるため、疑問や問題を速やかに解決することができます。もちろん今まで行ってきた服薬指導業務も継続します。そのため将来的には全病棟で薬剤師の病棟業務時間を拡大したいと思っておりますが、現時点では薬剤師数の関係から行えない病棟もあります。「薬あるところに薬剤師あり！」を目標に、入院時の持参薬から入院中使われる薬はもちろんのこと退院処方まで、安全で治療効果の高い薬物療法が行われるよう努力していきますので、よろしく願いいたします。

なお、病棟スタッフルームには病棟医長、看護師長とともに病棟担当薬剤師も名前が掲示されていますので、薬剤師を見かける機会も増えるかと思っておりますので気軽にお声をおかけください。





# 外来の診療体制を強化しました

○呼吸器内科・アレルギー科の外来を担当する医師数を増員し、新たに「肺高血圧」と「抗酸菌症」の外来をスタートいたしました。

独立行政法人国立病院機構 東京病院

## 外来診療担当医師表

(平成26年8月1日現在)

〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1 TEL 042-491-2111(代) FAX 042-494-2168

<予約センター> TEL 042-491-2181

※平日の8時30分～15時00分

<地域医療連携室>

TEL 042-491-2934 FAX 042-491-2125

※平日の8時30分～15時30分 (医療機関からの問い合わせを除く)

【診療時間】 平日の8時30分～17時15分

【受付時間】

初診 : 8時30分～14時00分

(土・日・祝日及び年末年始は休診)

再診(予約外) : 8時00分～11時00分

☆ 予約患者様のための診療です

診療科名	月	火		水		木		金		備考			
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後				
呼吸器センター	専門外来												
	呼吸器内科	初診	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医			
			松井	☆田村	☆赤川	☆赤川	永井	☆永井	小林	☆宮川(英)	田村	廣瀬	
		再診	☆益田	☆川島	宮川(英)	☆佐藤(亮)	赤司	☆齋藤	鈴木(純子)	☆奥田	松井	☆安藤	
			鈴木(純子)		大島	☆日下		☆鈴木(淳)	☆益田	☆井上(恵)	鈴木(亜)	☆加藤	
			鈴木(淳)		廣瀬	☆廣瀬			☆川島	☆川島			
			佐藤(亮)		島田(昌)	☆島田(昌)			山根	☆山根			
	井上(恵)			☆赤司			☆田村	☆島田(昌)					
				☆森			日下	☆横山					
	問質性肺炎					赤川							
	非結核性抗酸菌症					倉島							
	いびき・COPD	当番医		当番医		松井	☆松井	当番医		当番医			
	喀血				☆益田								
	肺がんセカンドオピニオン								☆田村				
	感染症								☆永井				
禁煙				☆松井									
肺高血圧		☆日下											
抗酸菌症										☆山根			
呼吸器外科	初診			当番医	当番医			当番医	当番医	当番医	当番医	※1 第2、4週のみ診療	
	再診				井上(雄)				此枝※1	深見	吉岡		
喘息・アレルギーセンター	アレルギー科(喘息)	初診	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医		
		再診	庄司		田下		庄司		庄司	☆田下	大島	☆小林	
	眼科	初診	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	眼科の初診は 月、水、木、金は14:00まで受付 火は11:00まで受付
		再診	山田		山田		山田		山田		中山		
	白内障外来						☆山田					13:30～15:30	
耳鼻咽喉科	初診						☆当番医						
	再診						☆当番医						
院長外来 (呼吸器内科・アレルギー科(喘息))	初診 再診	☆大田 (難治性)				☆大田				☆大田			
消化器センター	消化器内科	初診	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	消化器内科の初診は 月は12:00まで受付 ※1 第2、4週のみ診療	
		再診	上司		田中		井利		☆上司※1	☆時田※1	☆田中		
	消化器外科	初診	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
		再診	高井		後藤	後藤	趙		中田		後藤		
肝胆膵外科											☆元吉		
総合診療センター	総合内科	初診	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
		再診			☆滝澤	☆滝澤	☆伊藤(洋)						
	糖尿病外来				☆滝澤	☆滝澤	☆伊藤(洋)						
	循環器内科	初診	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
		再診	☆小川				☆本間		☆岡橋		☆青木		
	神経内科	初診	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	神経内科の初診は 月、水、木、金は14:00まで受付 火は11:00まで受付
		再診	城山		小宮		小宮		☆栗崎		中村(美)		
		石津		中村(美)		城山		石津		小宮			
	ものわずれ 高次脳機能障害						☆小宮			☆栗崎			
	緩和ケア内科	初診							三上	三上	永井	永井	
	整形外科	初診			堀		☆堀	☆堀			堀	堀	整形外科の初診は 火、金は11:00まで受付 水は14:00まで受付
再診		☆堀		堀		☆堀				堀			
リハビリテーション科	初診	新藤	新藤	荒尾	荒尾	濱田	濱田	濱田	濱田	新藤	新藤		
	再診	荒尾		新藤		佐藤(広)	濱田	荒尾		濱田			
地域リハビリ相談								☆新藤					
泌尿器科	初診	山中	山中	山中	山中	山中	山中	山中	山中	山中	山中		
	再診	山中		山中		山中		山中		山中			
放射線科	初診	三上				三上				三上	三上		
	再診	三上		三上		三上		三上		三上			

## 診療内容 病床数560床

- |             |               |             |           |             |
|-------------|---------------|-------------|-----------|-------------|
| ○呼吸器センター    | ○喘息・アレルギーセンター | ○消化器センター    | ○総合診療センター | ○放射線診療センター  |
| ●呼吸器内科      | ●アレルギー科       | ●消化器内科      | ●総合内科     | ●整形外科       |
| ●呼吸器外科      | ●眼科           | ●消化器外科      | ●循環器内科    | ●リハビリテーション科 |
| ●リハビリテーション科 | ●耳鼻咽喉科        | ●リハビリテーション科 | ●神経内科     | ●泌尿器科       |
| ●放射線科       | ●皮膚科(入院のみ)    | ●放射線科       | ●麻酔科      | ●放射線科       |
| ●緩和ケア内科     |               | ●緩和ケア内科     | ●臨床検査科    | ●歯科(入院のみ)   |

## 平成26年度「清瀬市健康診査」受付中です。

〈実施期間〉平日(月～金)及び第2・4土曜日

〈受信を希望される方は〉

当院は完全予約制となっております。ご希望の方は予約センターまでお問い合わせ下さい。

なお、受診の対象となる方にはあらかじめ清瀬市から「受診券」が郵送されますので、受診券が届いた方から予約をお願いします。

【予約センター：TEL 042-491-2181 受付時間：平日9:00～15:30】

受付時間：初診 8:30～14:00 (消化器内科の月、金は12:00までの受付) 予約センター 042-491-2181  
再診 8:00～11:00 (受付時間平日8:30～15:00まで)

## 専門外来案内

専門外来名	診察日	このようなことでお悩みの方は、ご相談ください
禁煙(予約制)	火(午前)	タバコがどうしてもやめられない方。 (当院の禁煙外来は、平成20年1月より保険が適用となりました。)
呼吸器関係外来		
肺がんセカンドオピニオン(予約制)	木(午後)	肺がん治療についてのセカンドオピニオンを希望される方。 [1時間まで10,800円]
咯血(予約制)	火(午後2時～)	咳をともなって気道・肺から出血する状態を咯血といいます。肺アスペルギルス症、気管支拡張症、非結核抗酸菌症、肺結核、肺癌の患者さんにおこります。ご相談ください。
間質性肺炎	水(午前)	この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。 治療が難しく、膠原病に合併する場合があります。
非結核性抗酸菌症	水(午前)	咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核にみえますが違います。 結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。
いびき COPD (睡眠時無呼吸症候群の検査)	月～金(午前)	ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われた方。COPDを疑われたり、COPD呼吸リハビリを御希望の方。
難治性喘息外来(予約制)	月(午後2時～4時)	通常の喘息治療でうまく喘息がコントロールされていない難治性喘息の方。
ものわすれ外来	水(午後)	最近ものわすれのひどい方、アルツハイマー病などが心配な方。 (あらかじめ神経内科を受診して下さい。)
高次脳機能外来	木(午後)	失語・失行や健忘などの診断、リハビリテーションへの紹介など(要神経内科外来受診)。
肝胆脾	金(午後)	肝臓癌、胆嚢癌、胆管癌、膵臓癌や胆石症など、肝胆脾疾患の手術のご相談、お申し込み、セカンドオピニオン等に、専門の医師が対応いたします。
地域リハビリ相談	木(午前)	連携医の先生方からかかりつけの患者様で、運動・言語・嚥下機能に問題があり、リハビリテーションをご希望の方。(かかりつけ医の情報提供書が必要です。)
白内障外来	木(午後13:30～15:30)	白内障の診断、手術の相談、説明など、これから白内障手術を検討されている方の各種相談などを行っています。

医療連携室よりお知らせ 患者様をご紹介いただく場合(医療機関)  
外来診療の予約 : 診療依頼書をFAX送信して下さい  
CT・MRI検査の申し込み: 医療連携室へお電話下さい

## 医療連携室

FAX 042-491-2125 (8:30～15:30)  
TEL 042-491-2934 (8:30～17:15)

## 交通

- 西武池袋線 清瀬駅南口よりタクシー5分、または南口バス2番乗り場より久米川駅行・所沢駅東口行は東京病院北下車、下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行は東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR武蔵野線 新秋津駅よりタクシー10分、または西武池袋線に乗り換え。
- 西武新宿線 久米川駅北口より清瀬駅南口行で東京病院北下車。または花小金井駅北口より清瀬駅南口行きで東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR中央線 武蔵小金井駅より清瀬駅南口行のバス路線があります。
- 東武東上線 志木駅南口より清瀬駅北口行のバス路線があります。
- お車でお越しの際は正面よりお入り下さい。

(駐車場265台)

30分以内 無料

31分～4時間 100円

以後1時間毎 100円

(20時15分～7時 1時間毎300円)

WEB検索

東京病院

検索

